

当総務委員会に付託された案件については、3月7日は午前9時30分から、12日は午後1時15分から、19日は午後1時から、委員全員出席のもと、いずれも委員会室において、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第8号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

今回の予算は、過去最大規模であり、事業に対する取捨選択が求められると思うが、市長として、どのような判断基準を持ち、取り組んでいくことを考えているのか。とに対し、

事業に対する効果や必要性に焦点をあて、しっかりと精査することで、事業の見直しや効率化に向け、取り組んでいく必要があると考えています。とのこと。

歳出、2款1項1目、人事管理事務費について、職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる職場環境を目指すとするが、どのように取り組んでいくのか。とに対し、

これまでに実施したアンケート調査結果を外部の専門家に分析いただき、現在の職場の課題を明確にし、改善に向けた指導や改善策のアドバイスを受けながら、実施することにより職場の環境改善に取り組んでいきます。とのこと。

同項6目、ふるさと納税事務について、令和6年度の目標値を1億円としているが、令和5年度の実績はどうか。また、目標達成に向け、返戻品の開拓の取り組みはどうか。とに対し

令和5年度の寄附金は、約7千5百万円の見込みです。事業者登録数を増やすとともに魅力ある返戻品の開拓に取り組んでいきます。とのこと。

同日、シティプロモーション推進事業について、どのような理由からプロモーターに業務委託をするのか。また、業務委託によるビジョンをどのように考えているのか。とに対し、

メディアに取り上げられるこれまでの実例数が少ないことを課題と捉え、プレスリリース配信やメディアへの売り込み強化が重要と考え、専門業者に業務委託するものです。プロモーターには、本市の PR 戦略に基づいた 5 事業程度を売り込んでいただくことを予定しています。対象事業がテレビ番組等で取り上げられ、本市のイメージ向上や、はたらく親を応援するまちのブランディングに繋がりたいと考えています。とのこと。

同項 8 目、DX 推進事業について、DX 推進アドバイザー業務委託料とあるが、委託する業務はどのようなか。また、選定はどのように進めていくのか。とに対し、

推進アドバイザーには、本市の DX 推進にかかる課題や取り組み方針を整理し、DX を推進する提案を行っていただくとともに、職員の意識改革を図るための研修の実施や第 5 次情報システム最適化に向けた契約形態の見直しを担っていただくことを考えています。プロポーザル方式による企画提案書の提出期日を 4 月下旬とし、5 月に選定を行い、6 月からの実施を予定しています。とのこと。

同項 10 目、防犯活動事業について、どのように推進し、実施するのか。また、効果をどのように図るのか。とに対し、

市内全域に 130 基の防犯カメラと 2 千枚の看板を設置し、犯罪抑止を図るとともに、市民の防犯意識の向上を目指し、防犯力の高いまちづくりに繋がっていきます。この取り組みにより、令和 4 年から増加傾向にある犯罪件数が、減少することを目標に効果の検証を行います。とのこと。

同項 11 目、はたらく親を応援する団体育成事業について、市民活動団体への支援とは、どのように実施するのか。とに対し、

仕事と子育ての両立を応援する活動を行いたいとする、意欲ある市民活動団体に対し、活動に共感を得られるプレゼンテーション能力を育成する研修を実施します。市民活動団体は、事業内容や思いを動画等により市民に公開し、市民は「応援

したい」と感じた市民活動団体に投票します。その投票結果により、多くの市民の共感を得た団体に対して活動資金を助成するものです。とのこと。

同じく、審査に市民投票の実施を導入するのは、どのような理由からか。とに対し、

投票を通じ、市民活動団体の活動に市民の共感を呼び込み、将来的には、市民活動団体の協力者や支援者として関わる市民が増え、団体活動の更なる活性化へと繋げることができると考え、導入するものです。とのこと。

同項 1 2 目、男女共同参画社会推進事業について、LGBTQ 相談員謝金とあるが、相談事業はどのように実施していくのか。とに対し、

性的少数者等を支援する団体で活動している方を相談員に迎え、年 20 回の面接相談、また、小中学校で相談支援にあたる教職員との情報交換を年 2 回実施する予定です。とのこと。

同目、小学校区コミュニティ活動支援事業について、広域コミュニティ構築検討協議会運営委託料に 160 万円が計上されているが、どのようなことに取り組むのか。とに対し、

地域の関係者が、地域活動の拠点となる施設のあり方など将来を見据え、小学校区を単位とした広域コミュニティの構築について検討していただくものです。令和 6 年度は、成岩小学校区に加え、小学校の更新が予定されている乙川東小学校区において、ファシリテーター業務に精通している事業者に会議の運営を委託し、地域の区長や PTA 役員などの他、興味関心のある地域の方がどなたでも参加できる場を設け、拠点整備にあわせて広域コミュニティについて議論を深めていきます。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 11 号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

歳入 3 款 1 項 1 目、一般会計繰入金について、使用料収入以外に収入を増やすことについて、どのような取り組みを検討しているのか。とに対し、

雁宿駐車場壁面を活用し、広告収入を得る仕組みについて検討しています。とのこと  
でした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 12 号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 16 号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

令和 6 年度予算は、支出が収入を上回る赤字予算となっている。新病院建設などにかかる一時的なものであることは理解しているが、その中で赤字額の縮小に向け、どのように取り組んでいくのか。とに対し、

診療報酬の改定が予定されていることを踏まえ、国が示した指針と患者のニーズに合わせた医療提供のあり方について検討を行い、収入の安定に繋がられるよう取り組みます。また、引き続き、経費削減策を徹底し、収支改善に向け取り組んでいきます。  
とのこと。

収益的収入 1 款 1 項 1 目、入院収益について、新病院の移転に向け、入院患者を減らす必要があるとのことだが、どのような対応をするのか。とに対し、

救急患者の受け入れは、行いますが、移転の直近 1 ヶ月前からは、計画的な治療を受けている予定入院患者の受け入れを段階的に減らして対応するものです。とのこと。

収益的支出 1 款 1 項 2 目、材料費について、どのような基準で薬品や診療材料等を選定し、支出削減を図る取り組みを行うのか。とに対し、

当院は、全国一律の価格で購入できる全国共同購入に加盟しており、取扱いがある場合は、この共同購入の仕組みを活用して購入を行います。しかしながら、共同購入により購入できない薬品等については、年3回の業者との交渉などを通じ、支出削減に取り組んでいきます。とのこと。

収益的支出1款1項3目、経費について、新病院・独立行政法人化・経営統合関係広報委託料とあるが、広報について、どのように行うことを考えているのか。とに対し、

新病院や新法人の診療科情報や治療内容を地域の医療機関や患者に周知すること、研修医や看護師の確保を目指すことなどを目的とした積極的な広報活動を考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第19号、議案第21号および、議案第29号の3議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、3議案とも、委員全員をもって原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上ご報告申し上げます。